

薩南だより 7月号

～令和元年は創立110周年～

鹿児島県立薩南工業高等学校

令和元年7月発行(第139号)



創立110周年を告げる懸垂幕を設置



5月中旬 各運動部県大会
三年生にとっては最後の夏の大会です。



5月24日 夜の学校説明会
大勢の中学生親子が参加しました。



6月8日 高校生ものコン県大会
電気工事・旋盤・木材加工の3部門出場



6月16日 なぎなた九州大会(長崎)
中村美遊さん(謀3年)が県代表で出場



6月中旬 普通救命講習会
二日に分け一年生全員が受講



6月21日 生活科学科
知覧小で折り紙の出前授業



6月28日 PTAミニバレー大会
地区対抗で和気あいあい!!



6月 各支部同窓会総会
全国各地で行われています。



7月7日 薩南野球部 県大会
第1シード神村学園と対戦



6月18日 「南部九州総体」を大会公式Facebookで全校生徒がPR

「本校創立110年の歩み～（５）」

校長 大保 智

梅雨の終わりとともに日差しの強い夏となりました。３年生は、進路決定の大事な夏を迎え、先生方と奮闘中であります。自己目標が達成できるよう努力して欲しいと思います。

さて、今後の創立110周年記念行事は、体育祭を９月７日（土）、式典を10月26日（土）、文化祭を11月８日（金）～９日（土）に予定しています。生徒、職員、保護者をはじめ、同窓会や地域の関係者の方々とともに準備を進めています。是非お越しくください。

今回は、平成時代の約20年間を紹介します。

薩南工業高等学校（Ⅱ）平成元年～平成21年

激動の時代「昭和」が幕を閉じたその年、本校も大規模な校舎改装が行われ、「平成」とともに新たな装いで新時代に踏み出した。同年本校は創立80周年を迎え、本校建築科卒業の板橋一步氏による「薩南健児の像」が、校舎右手に建立された。

昭和50～60年時代、教育界では普通科志向が高まり、全国的に工業科の募集定員が減少傾向にあった。本校では昭和60年の生活科学科設置に続き、平成３年に電気科を募集停止、新たに「情報技術科」を新設するなど、学科再編による活性化策が行われた。引き続き平成10年には、従来の土木科を廃止し「都市工学科」が新設された。都市工学科は、県内はもとより九州初の学科であり、土木科職員は「創るなら日本一の学科にしよう」と、東京・大阪まで視察に赴き、施設・設備の整備計画を整えた。

その当時の様子がある教員は次のように述べている。「学科再編は『モノ』の形を変えることに力が注がれるが、同時に『教師の意識をあるべき形にする』努力がいかに重要か教えられた」「魅力的な学科にするためには、教員の専門的な力量・指導力や豊かな人間性などの資質向上が強く求められており、自らの研修こそが今後の課題である」

一世紀前に工業教育の重要性を語り、優秀な技術者育成を目指した宮原直二氏の思いは、「薩南魂」として脈々と受け継がれ、時としてその時代時代で花開いている。

（本校創立100周年記念誌掲載文から）

本校の正門から入ると左に創立80周年に建立された本校建築科卒の板橋一步氏（当時二紀会評議員、富山県井波彫刻伝統産業会館館長）による「薩南健児の像」があります。薩南生が心豊かに成長することを願い、また限りなく前進する人間のロマンを母校愛と若者への夢を託して製作されたと聞いています。そのブロンズ像は、創立60周年に建立された本校創設者の宮原直二氏の胸像（板橋一步氏作）と相対して、朝夕にその眼差しを薩南生に注いでおります。正面玄関右手には、宮原翁が本校設立に際して詠んだ和歌「ひと筋に学び励みて墨縄の正しき道をふみなたがへそ」の歌碑が、創立100周年記念碑として建立されています。

この和歌を創立110周年の今年に本校の校是（こうぜ）とし、校訓とともに教育理念を示すものとして、永く大切にしていきたいと思います。

校是『ひと筋に学び励みて墨縄の正しき道をふみなたがへそ』、校訓『自主 向学 和協』

今後とも、関係各位の本校への変わらぬ御理解と御支援をよろしくお願いいたします。

薩南工業高校ホームページ <http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/satsunan/>

薩南工業高校公式Facebook <https://www.facebook.com/SATUNANKOUGYOU>

「薩南工業高校」で検索！